

地場企業 群像 90

旗用ポールと車の進入を防ぐ車止めのトップメーカー。サンポールのポールは広島市で今月開かれた外相会合でも、平和記念公園で参加国の国旗を掲げるため使われた。

学校や公民館向けの需要が伸び悩む中、都市の美観や観光のニーズを細かく拾おうとしている。山根以久子社長(60)は「新たな商品開発に全社を挙げて取り組む」と強調する。

2008年に社内提案制を導入した。優れたアイデアが寄せられれば、その都

サンポール

(広島市中区)



東京都江東区の臨海地区の遊歩道に設置されたサンポールの「エリアーチ」

《会社概要》本社は広島市中区南吉島2丁目。1970年設立。本社と中区光南6丁目の2カ所に工場がある。従業員175人、2015年9月期の売上高は45億8千万円。

制度から生まれた。草花を植えるプランターを収める擬石を土台に用い、コの字形のステンレス製アーチを据えた。小笠原直樹・営業企画部長(56)は「都心は再開発が盛ん。東京五輪に向けて需要は拡大する」と期待する。

観光地向けのカメラスタ

夏から販売する。デジタルカメラやスマートフォン、タイマーをセットして置く。大阪府の方博記念公園など20カ所余りに設置された。

1970年、山根社長の父の故朗氏たちが設立。ハインドルで旗を上下できるポールが好評で80年代に約6割のシェアを占めた。学校や競技場など公共施設の建設が相次ぎ、車止めにも参入した。90年代から官公庁の需要が縮小。06年に就いた山根社長は、商品開発の強化に努めてきた。

街彩る商品 全社で開発

度、営業や技術開発など部署を越えた特別チームを組む体制も整えた。

「街に潤いと彩りを」と今年1月に発売した車止め「エリアーチ」も、提案好きの社員の発案で、昨

「小さな心遣いを商品にする」と山根社長。店舗の一角にベビーカーを置く専用スペースを設けられる商品なども扱う。「社会への提案」で市場を切り開く。(境信重)

中国経済